

## 1. 真岡市総合運動公園(南ブロック)整備について

### (1) 真岡市総合運動公園整備に関するこれまでの経過

真岡市総合運動公園については、平成9年度に「真岡市総合運動公園基本計画報告書」、平成21年度に「真岡市総合運動公園基本構想」がとりまとめられ、さらに平成23年度には、運動公園に対する市民の要望や役割、社会情勢を反映した「真岡市総合運動公園基本計画書」が策定されました。その後、平成24年に北ブロックにおいて「真岡市総合運動公園基本設計書」が作成され、その内容を踏まえた実施設計により北ブロックの西側から施設整備を進め、平成30年度末に北ブロックの公園整備が完了する予定となっております。

### (2) 真岡市総合運動公園南ブロック整備の見直しについて

本市では市民一人一人が、自主的にスポーツ・レクリエーションを行うことにより、心身ともに健康で活力のある生活を実現するため、南ブロックにおいても「真岡市総合運動公園基本計画書」に基づき、平成31年度から整備を進める計画であります。しかしながら「真岡市総合運動公園基本計画書」は、策定から7年が経過し、施設の必要性・市民のニーズ・人口減少などの社会情勢の変化に即した計画の見直しが必要であることから、各種団体や関係者との調整を図り、総合運動公園南ブロック整備の施設計画(案)についてまとめました。

施設名称	基本計画書(平成23年度)	南ブロック基本設計(平成30年度)	整備状況、整備方針
	整備内容	整備内容	
野球場(新設)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○硬式野球場を整備する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校野球の予選に使用。</li> <li>・メインスタンドには屋根を設ける。</li> <li>・屋根は平時の屋内環境の改善や省エネ化の装置として利用する。</li> <li>・メインスタンドは2,500人収容とし、その他は芝生席とする。</li> <li>・建築空間：建築1,500m<sup>2</sup>程度、スタンド及び屋根：1,800m<sup>2</sup>程度</li> </ul> </li> </ul> <p style="text-align: right;">【整備費：1,055,300千円】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○硬式兼軟式野球場を整備する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・規模：硬式公認野球場(センター約122m、両翼約98m)プロ野球の独立リーグ(BCリーグ)、高校野球予選に対応。</li> <li>・グラウンド：(内野：土舗装、外野：天然芝)</li> <li>・照明施設：硬式野球の一般競技、軟式野球の公式競技、BCリーグ基準値に準ずる。</li> <li>・スコアボード：磁気反転式</li> <li>・観客席：内野スタンド約2,000人、その他芝生席</li> <li>・スタンド施設：本部室、放送室、審判控室、会議室、器具庫、トイレ等</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市には、硬式野球対応の野球場が未整備である。高校野球から社会人野球の硬式野球が開催可能な球場として整備し、また、軟式野球での利用や市長杯大会などで、市民レベルの利用促進を図る。</li> </ul>
運動広場(人工芝)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備計画なし。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人工芝の運動広場を整備する。(運動広場1) <ul style="list-style-type: none"> <li>・規模：日本サッカー協会の主催する大会に対応。(ピッチサイズ105m×68m)</li> <li>・グラウンド：人工芝</li> <li>・照明施設：高水準のトレーニングに対応。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市ではサッカー競技の人気が高く愛好者が多いことから、芝養生期間の不要な人工芝の運動場を整備する。また、2022年本県で開催予定の、国民体育大会サッカー会場としての使用を想定している。</li> </ul>
軟式野球場(既設)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○既存施設の耐震性と劣化状況を確認の上、建物を活用しながら新たなデザインに合わせて改修する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存建物は現状の構造、間仕切りのまま改修。</li> <li>・グラウンド及び照明塔は既存を流用し、スタンドは屋根を設けない。</li> </ul> </li> </ul> <p style="text-align: right;">【整備費：424,100千円】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○天然芝の運動広場を整備する。(運動広場2) <ul style="list-style-type: none"> <li>・規模：軟式野球に対応</li> <li>・グラウンド：天然芝(一部土舗装)</li> <li>・野球の補助球場や、グラウンドゴルフの利用を想定。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野球大会運営上、隣接して2会場必要であり、補助球場の規模として整備する。また、天然芝の部分はグラウンドゴルフにも利用可能。</li> </ul>
スポーツセンター(体育館)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○スポーツセンターを整備する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館(バスケットボールコート2面)、武道場(柔道、剣道)、アスレチックルーム、ラウンジ等からなる複合スポーツ施設。</li> </ul> </li> </ul> <p style="text-align: right;">【整備費：3,264,000千円】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備計画なし。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地に体育施設が集中しており、市民にとっても利便性がよい。建設コストを考慮し、新たに建設するより、現在の総合体育館、武道体育館、スポーツ交流館等を適正に管理・改修することで長寿命化を図り、総コストを抑える。</li> </ul>
センタープラザ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○スポーツセンター及び野球場のエントランスとして、また、簡易なイベント会場として利用できる広場を整備する。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【整備費：177,000千円】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○エントランス広場を整備する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・硬式兼軟式野球場に向かうエントランスや、大型バスが旋回できるロータリーを整備。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・硬式兼軟式野球場前で乗降のためのロータリーを設け、歩行者が通行できるスペースを整備する。</li> </ul>
芝生広場	<ul style="list-style-type: none"> <li>○誰もが気軽に楽しむことのできる生涯スポーツ、コミュニティスポーツとして、近年人気が高まっているパークゴルフコースを設置する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般利用者と交錯しない、敷地の南端外縁部に配置する。</li> </ul> </li> </ul> <p style="text-align: right;">【整備費：21,000千円】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○パークゴルフは競技人口が少ないためコースの整備をせず、来園者が自由に利用できる広場を整備する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・硬式兼軟式野球場や、調整池の周辺部に芝生広場を整備する。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピクニックや、レクリエーションなど自由に利用できる広場を整備する。</li> </ul>
子供の森	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ゆるやかなアンジュレーションの中に遊具等を設置し、子どもたちが自由に安心して体を動かし、遊べる場として利用できる広場を整備する。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【整備費：172,500千円】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北ブロックに子ども広場及び健康広場が整備済のため、南ブロックには遊具広場等は整備しない。</li> </ul>	
憩いの広場	<ul style="list-style-type: none"> <li>○雨水調整池の一部を修景池として活用するほか、四阿や便所を配して、安らぎと憩いの場として利用できる広場を整備する。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【整備費：22,800千円】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○雨水調整池付近に、芝生広場を配置する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・休養施設として四阿を配置する。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芝生広場として整備する。</li> </ul>

施設名称	基本計画書(平成23年度)	南ブロック基本設計(平成30年度)	市内の整備状況、市の整備方針
	整備内容	整備内容	
駐車場	<p>○スムーズに目的施設にアプローチできるよう分散配置形式を採用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大型車6台(西側)、普通車180台(西側)+235台(東側)=415台</li> </ul> <p>【整備費：126,000千円】</p>	<p>○県道側及び市道側よりスムーズに目的施設にアプローチできるよう分散配置形式を採用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大型車16台(東側)、普通車337台(西側)+116台(中央)+205台(東側)=658台</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画最大同時滞在者数の推計値から、本運動公園の面積として、合計約1,000台の駐車場が必要。北ブロックには、普通車323台分の駐車場が整備済みであり、残りを南ブロックで整備する。</li> </ul>
トイレ	<p>○トイレと休憩パビリオンをセットにして、周回路の途中に設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレは男子、女子、多目的便所を基本とするが、設置場所に応じて適宜調整する。</li> </ul> <p>【整備費：92,000千円】</p>	<p>○トイレは、男子、女子、多目的便所を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東側及び、西側の来園者の通行が多い場所に設置する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来園者の通行や、利用頻度の高い施設の近くに2箇所整備する。なお、硬式兼軟式野球場のトイレについては、施設閉鎖時でも利用が可能な仕様にする。</li> </ul>
防災倉庫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備計画なし。</li> </ul>	<p>○防災備蓄品配置計画の見直しに伴い、総合運動公園内にも備蓄する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有事の際、倉庫へのアクセス性を考慮し、県道に近い位置に配置する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県道に面しており、敷地に余裕がある南ブロックに整備する。また、本公園は真岡市地域防災計画のなかで、防災拠点となっている。</li> </ul>
調整池	<p>○雨水調整池を含むスペースで、安らぎと憩いの場として利用できる広場を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場や広場を浅く貯留する「オンサイト方式」を計画する。</li> </ul> <p>【整備費：19,500千円】</p>	<p>○雨水調整池は安全性を考慮し、外周にフェンスを設置する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場や広場の利便性を優先し、「オンサイト方式」は採用しない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放流先の水路や河川の最小比流量を基に、放流量や貯留量を計画。</li> </ul>
歩行者用連絡通路	<p>○道路により分断される南北のブロックを結びつけ、車両の通行に煩わされず一体的な活動を連続して行うための連絡通路を計画する。</p> <p>【整備費：342,000千円】</p>	<p>○南、北ブロックの往来をスムーズに行うため、歩道橋を設置する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南、北ブロックを安全に往来し、幅広い層の利用者に対応するため、スロープ付き歩道橋を整備する。</li> </ul>
ジョギングコース	<p>○近年、人気が高まっているスポーツのひとつであり、市民意向調査でも整備要望が多く、ウォーキング・ジョギングコースを整備する。</p> <p>【整備費：園路整備に含む】</p>	<p>○市民のニーズが高い、ウォーキング・ジョギングコースを整備する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北ブロックでウォーキング・ジョギングの利用者が多く、ニーズが高いため南ブロックにも整備する。</li> </ul>
概算事業費	約62.5億円(園路整備、設備等5.3億円を含む)		

◆平成23年度基本計画における南ブロック計画平面図



◆平成30年度基本設計における南ブロック計画平面図



## 2. 計画地の位置、計画施設の概要

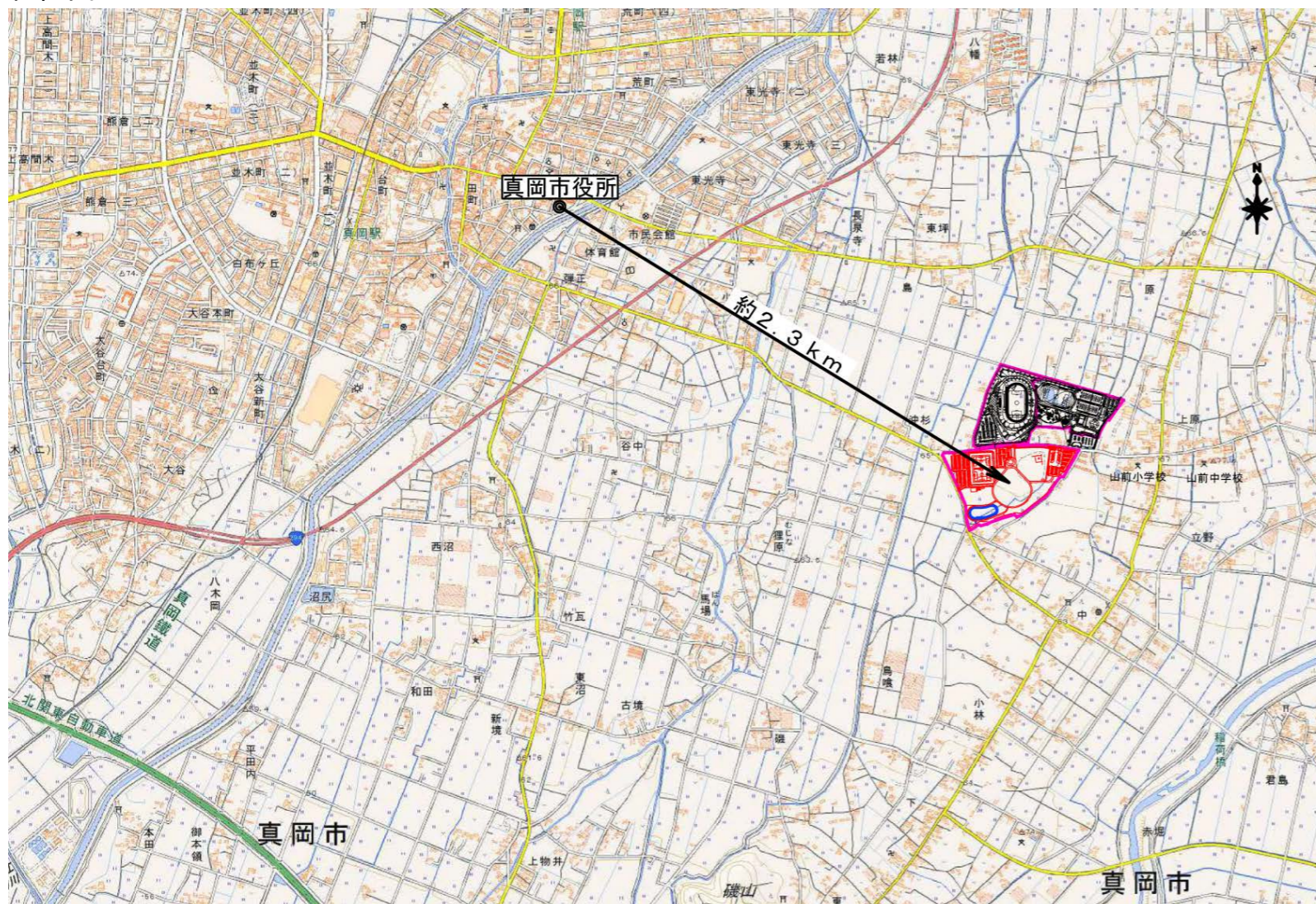
### 2-1 計画地の概要

真岡市総合運動公園南ブロックの計画地概要は下記のとおりです。

所在地	真岡市大字小林地内
敷地面積	約12.9ha(南ブロック)
都市計画法	市街化調整区域 運動公園として都市計画決定(平成7年)

### 2-2 立地条件

#### 位置図



#### ①計画地の位置

- ・真岡市役所から計画地まで南東に約2.3km、車で約6分の位置となっています。

#### ②現況の土地利用状況

- ・計画地周辺は、田畑が広がる農村地域となっています。
- ・計画地北側は市道116号線、西側は県道真岡岩瀬線に隣接し、周辺には民家が点在しています。
- ・計画地東側には、既存道路(約3m)や既存水路があります。
- ・計画地から東側へ約200mには山前小学校、東側約500mには山前中学校があります。

### 3. 真岡市総合運動公園(南ブロック)の整備コンセプト

真岡市総合運動公園南ブロックを市民の方々のニーズに対応したスポーツ拠点として整備するとともに、緑やオープンスペースを活用したレクリエーションなど多様な機能を持ち、すべての人々が気軽に利用できる公園として整備するものとし、公園整備の基本的な考え方は以下のとおりとします。

#### 『市民のスポーツ拠点として多様な機能を備え、世代をこえて長く愛着を持って利用できる公園整備』

##### ① 親しみやすく市民に愛される総合運動公園整備

- ・公園利用者が快適に使用することができる硬式兼軟式野球場、運動広場、芝生広場等を配置し、市民のスポーツ交流・活動の拠点となる総合運動公園の施設整備を計画します。

##### ② 誰もが利用しやすい人にやさしい施設整備

- ・子どもから高齢者、障がいのある方、すべての方々が使いやすいユニバーサルデザインによる公園施設を計画します。
- ・誰にでも使いやすい、分かりやすい空間構成・動線計画及び、施設配置計画とします。

##### ③ 市民の暮らしを支える公園整備

- ・市民の方々が安心して暮らすために、防災拠点として公園施設を計画します。
- ・野球場スタジアムは、耐震設計とし、大地震時にも防災拠点として活用できる施設として計画します。

##### ④ 市民のスポーツニーズを重視した公園整備

- ・市民の方々のスポーツニーズを反映した公園施設を計画します。
- ・身近に利用できて市民意向調査においても日頃から行っている人の多い、ウォーキング・ジョギングコースを整備します。

##### ⑤ 周辺の気候風土にマッチした環境配慮型公園整備

- ・周辺地区の景観に配慮した施設外観・素材を取り入れた計画とします。
- ・公園計画地内の既存木は極力生かす計画とし、必要な樹木については移植なども検討します。

##### ⑥ ライフサイクルコストの低減を目指した公園施設整備

- ・イニシャルコストと、施設維持、改修、撤去を含めたライフサイクルコストの低減を目指した公園施設の導入を図ります。
- ・照明設備は、LED光源とし、長寿命化や電力費用削減などに配慮した設計とします。

## 4. 配置計画・動線計画

### 4-1 配置計画

#### (1) 周辺施設との関係

- ①北ブロックのメイン施設である陸上競技場の方角や軸線と整合するように硬式兼軟式野球場や、エントランス広場を配置します。
- ②硬式兼軟式野球場に隣接し、運動広場(天然芝)を配置します。

#### (2) 歩行者・周辺環境にやさしい施設

- ①利用者が一番多いと考えられる硬式兼軟式野球場を区域中央部に配置します。
- ②硬式兼軟式野球場と周辺敷地との距離を置くことで、周辺環境に配慮します。

#### (3) 効率的な駐車場・駐輪場

- ①南ブロック東側、中央、西側に分散して駐車場を配置し、県道及び市道にそれぞれ接続することで、車両が出入りする効率性を確保します。
- ②歩行者の安全性に配慮して、歩行者園路を効率的に配置し、車両の動線と分離した計画とします。

### 4-2 動線計画

#### (1) 歩行者動線計画

- ①北ブロックからの出入口や各隣接道路からの歩行者出入口をそれぞれ設置して、多方面からアクセス可能な公園として計画します。
- ②駐車場からの園路を効率的に配置し、良好な歩行者動線を確保します。
- ③駐車場内の駐車マスの中に、2mの通路を設置し、場内車両動線との分離を図ります。

#### (2) 車両動線計画

- ①駐車場を東側、中央、西側に分散して配置し、車両動線の集中を緩和します。
- ②大型車駐車場は、16台分を東側駐車場に設置し、普通車と混在しないように配置します。
- ③エントランス広場のロータリーは、大型車が旋回可能とし、スムーズな乗降を計画します。

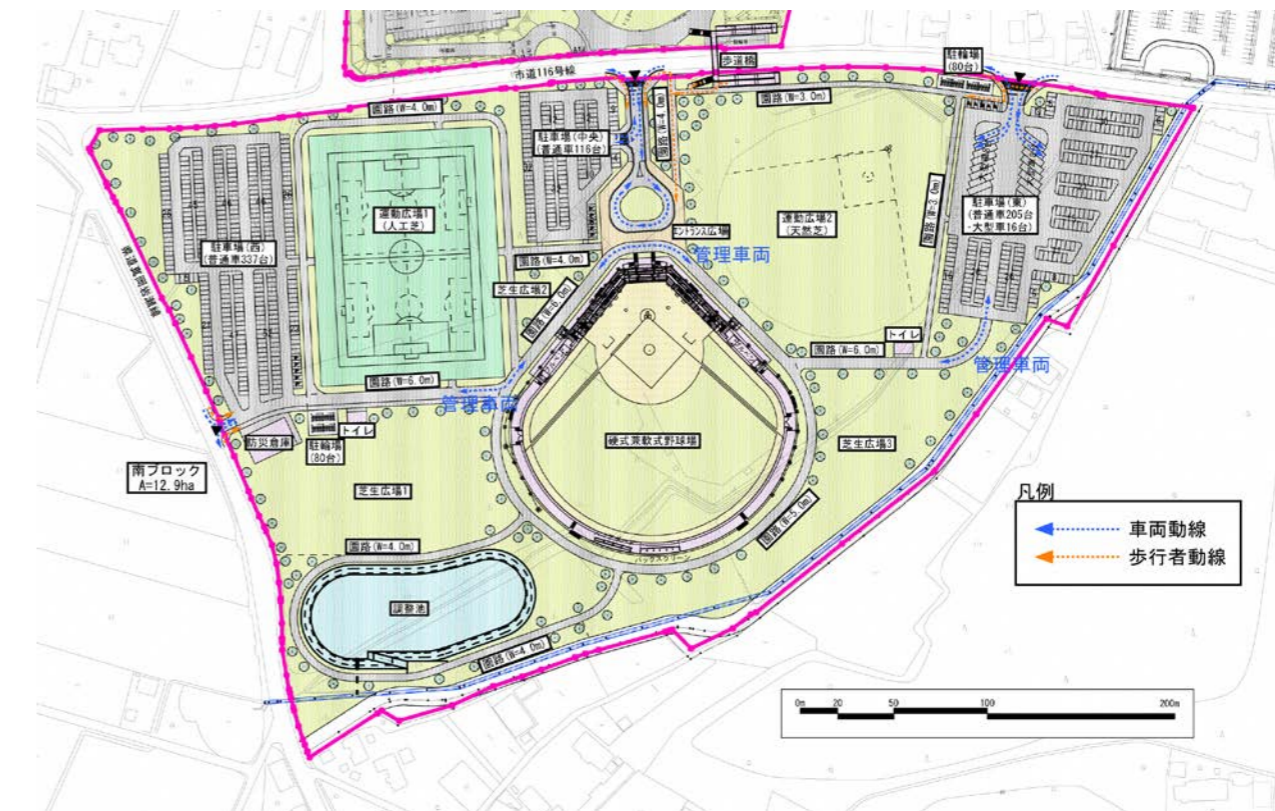
#### (3) 自転車動線計画

- ①来園者の自転車駐輪場は、隣接道路沿いの西側と北側の2箇所に設けます。
- ②公園内は、自転車の乗入れは不可として計画します。

ゾーニング図



動線計画図



## 5. 各施設計画

### 5-1 硬式兼軟式野球場整備計画

硬式兼軟式野球場の規模や機能などについて、施設を利用する団体や関係者等と調整を図り、新規野球場整備へ向けた基本的な施設設計についてとりまとめていきます。

#### (1) 整備の基本方針

① 真岡市唯一の硬式にも対応した野球場として、相応しい機能とグレードを有した施設とします。

② 施設位置は、南ブロック中央部に配置し、本塁側を北北西(競技者主体)の向きとします。

③ 真岡市総合運動公園の核となる運動施設として市民に開かれた親しみやすい施設とします。

④ 競技者や観客など、多くの方が利用しやすい施設機能を導入します。

⑤ ユニバーサルデザインに配慮した施設として計画します。

⑥ 災害時の救援活動、復旧活動の拠点となりうるよう防災施設として整備します。

⑦ 周辺環境になじむスタジアム外観や施設として計画します。

#### (2) 施設の基本機能

##### <フィールド>

- ① フィールド規模は、真岡市唯一の硬式にも対応した野球場として、高いレベルの競技が行えるよう両翼98m、センター122m程度として整備します。(整備水準：公認野球場)
- ② 内野グラウンド舗装は、表層はクレイ(土系)舗装とし、排水性を考慮し、黒土+川砂の混合土とします。
- ③ 外野グラウンド舗装は天然芝舗装とし、緻密で維持管理が比較的かからない「コウライシバ」等を選定します。
- ④ 打球を追う外野手に外野フェンスが近づいていることを知らせるため、ウォーニングゾーンを設置します。

##### <内野スタンド・諸室>

- ① 観客の収容人員はバックネット裏、内野スタンドで2,000人程度を収容可能とします。
- ② 快適な試合観戦ができるよう、屋根をバックネット裏観客席の一部に設置します。
- ③ 観客席は、観戦環境向上のため個別席とし、一部は応援を考慮しベンチシートとする。
- ④ 大会関係諸室(本部室、役員室、記録放送室等)はバックネット裏1階部分に設置します。
- ⑤ 利用者諸室(更衣室、シャワー、トイレ等)は、大会利用を考慮し1塁側、3塁側にそれぞれ設置します。

- ⑥ 各種大会利用を考慮し、屋内ブルペンを1塁側、3塁側にそれぞれ設置します。

##### <外野スタンド>

- ① 広く市民利用を図るため、外野スタンド部分は、芝生席として整備します。
- ② 観客の収容人員は外野スタンドで1,500人程度を収容可能とします。
- ③ 野球場側はスタンドからの観戦を考慮し、1m程度高低差を設け、スタンドの勾配は芝生法面に座っての観戦を考慮し、1:6の勾配として整備します。

##### <照明設備>

- ① ナイター照明については、硬式野球の観客のいる地域全体又は特定地域における一般的な運動競技会。高水準のトレーニング。軟式野球の観客のいる国際、国内、地域全体又は特定地域における最高水準の運動競技会。最高水準のトレーニング。BCリーグ基準値以上(内野750Lx以上、外野500Lx以上)として照度を確保します。
- ② LED投光器を採用し、周辺への光害の軽減や防虫対策を行うとともに、長寿命化や節電を実現可能な計画とします。

##### <その他>

- ① 競技者の乗降や荷物の積み下ろしに配慮し、大型バスが寄り付けるロータリーをメインの入口付近に設置します。
- ② 誰もが利用しやすい施設となるよう、多機能トイレの設置やサイン計画など、ユニバーサルデザインに配慮した施設とします。
- ③ フィールド及び諸室を、災害時の復旧活動等の活動拠点として使用可能として計画します。
- ④ 隣接する広場との一体的利用など、周辺施設と連携を図る施設等を導入する。
- ⑤ 球場外周部には、幅5~6mのアスファルト舗装園路を設置する計画とします。
- ⑥ 隣接する駐車場からアクセスしやすい動線を確保するよう園路や出入口を配置します。
- ⑦ 外野グラウンドの天然芝養生のための散水施設の導入を計画します。
- ⑧ 防球ネットを設置し、公園利用者の安全を確保します。

## 5-2 運動広場1（人工芝）整備計画

運動広場1（人工芝）の規模や機能などについて、施設を利用する団体や関係者等と調整を図り、広場整備に向けた基本的な施設設計についてとりまとめていきます。

### （1）整備の基本方針

① 2022年本県で開催予定の国民体育大会サッカー会場としての使用を想定した施設として計画します。

② 運動広場の軸線方向を望ましい方向（太陽を直視しない）となる南北の向きとします。

③ 日本サッカー協会の主催する大会に対応するピッチサイズ105m×68mとして計画します。

④ 競技者や観客の動線に配慮した計画とします。

⑤ ユニバーサルデザインに配慮した施設として計画します。

⑥ 災害時の救援活動、復旧活動の拠点となりうるよう防災施設として整備します。

⑦ 近年の猛暑などに配慮した施設として計画します。

### （2）施設の基本機能

#### <フィールド>

- ① 対象となる競技は、サッカー、8人制サッカーとして計画します。
- ② 芝養生期間の不要な、人工芝（日本サッカー協会公認芝）のグラウンドとして整備します。
- ③ ピッチサイズ105m×68mの外側に5mの間隔をとって、115m×78mで芝面を整備します。
- ④ 救急車等の緊急車両がフィールド内にアクセスできる動線を確保します。
- ⑤ 8人制サッカーを考慮してハーフコート利用のコートラインを描く計画とします。
- ⑥ 国体開催時の観客収容エリアを想定して、フィールドの外側に10mの用地を確保します。
- ⑦ フィールドを、災害時の復旧活動等の活動拠点として使用可能とします。

#### <照明設備>

- ① 夜間照明は、高水準のトレーニングを対象とした平均照度200Lx以上として計画します。
- ② LED投光器を採用し、周辺への光害の軽減や防虫対策を行うとともに、長寿命化や節電を実現可能な計画とします。

#### <その他>

- ① 広場外周部には、幅4mのアスファルト舗装園路を設置する計画とします。□
- ② 隣接する駐車場からアクセスしやすい動線を確保するよう園路や出入口を配置します。
- ③ 防球ネットは、高さ5～10m程度により設置し、公園利用者の安全を確保します。
- ④ 誰もが利用しやすい施設となるよう、段差の少ない施設やサイン計画など、ユニバーサルデザインに配慮した施設とする。
- ⑤ 近年の猛暑対策として、ミスト散水施設などの導入を検討します。

### 5-3 運動広場2（天然芝）整備計画

運動広場2（天然芝）の規模や機能などについて、施設を利用する団体や関係者等と調整を図り、広場整備へ向けた基本的な施設設計についてとりまとめていきます。

#### （1）整備の基本方針

① 野球の補助球場や、グラウンドゴルフの利用を想定した施設として整備します。

② 施設位置は、硬式兼軟式球場に隣接した場所に配置します。

#### <その他>

- ① 広場外周部には、幅3～6mのアスファルト舗装園路を設置する計画とします。
- ② 隣接する駐車場からアクセスしやすい動線を確保するよう園路や出入口を配置します。
- ③ 防球ネット等を設置し、公園利用者の安全、利便性を確保します。
- ④ 周辺園路沿いには、水飲み場等の施設を設置します。

#### （2）施設の基本機能

##### <フィールド>

- ① 軟式野球や、グラウンドゴルフが利用できる規模として整備します。□
- ② 天然芝舗装（一部土舗装）とし、剛健で維持管理が比較的かからない「野芝」などを選定します。

##### <内野スタンド・諸室>

- ① 既存の東運動場の内野スタンドやダッグアウト、諸室関係施設は撤去します。
- ② 補助球場のため、スタンド等は設置しない計画とします。

##### <外野スタンド>

- ① フリースペースとして、外野スタンドは設置しない計画とします。
- ② 周辺園路沿いには、ベンチなどの休養施設を設置します。

##### <照明設備>

- ① 補助球場のため、ナイター照明施設は設置しない計画とします。



## 5-4 その他施設整備計画

駐車場・駐輪場や園路、エントランス広場、芝生広場や調整池及び各種建築物などについて施設を管理する部門と調整を図り、整備へ向けた基本的な施設計画についてとりまとめていきます。

### (1) 駐車場整備計画

- ① 接続する県道側及び市道側よりスムーズに目的施設にアプローチできるよう分散配置形式を採用します。
- ② 東側駐車場は、北側の市道116号線に出入口を設置し、大型車16台、普通車205台の駐車台数として計画します。
- ③ 中央駐車場は、北側の市道116号線に出入口を設置し、普通車116台の駐車台数として計画します。
- ④ 西側駐車場は、西側の県道真岡岩瀬線に出入口を設置し、普通車337台の駐車台数として計画します。
- ⑤ 南ブロック駐車場は、合計で大型車16台、普通車658台の駐車台数として計画します。
- ⑥ 駐車場は、アスファルト舗装により整備を図る計画とします。
- ⑦ 北ブロックに整備済の普通車323台分の駐車場と合わせて、合計約1,000台の普通車駐車場を整備します。

### (2) 駐輪場整備計画

- ① 北側市道及び、西側県道近くの2箇所に、各80台分の駐輪場を設置します。□
- ② 駐輪場は、コンクリート舗装により整備を図る計画とします。

### (3) 園路整備計画

- ① 園路(幅員3m~6m)を公園内に配置し、来園者の通行や管理車両の通路として活用します。□
- ② 防災園路や管理車両の通行が多い園路は幅員6mとし、管理車両が入る園路は幅員4m、歩行者□がメインの園路は幅員3mで整備します。
- ③ 園路は、アスファルト舗装により整備を図る計画とします。
- ④ ウォーキング・ジョギングコースは、ゴムチップ舗装により整備を図る計画とします。

### (4) エントランス広場整備計画

- ① 北側の市道116号線に接続し、硬式兼軟式野球場前で乗降のためのロータリーを設置し、その□周辺を歩行者が通行できるスペースとして整備します。
- ② 歩道部は、空間の高質化を図るため、バリアフリーに対応したインターロッキングブロック舗装などを採用し、整備する計画とします。

### (5) 芝生広場整備計画

- ① 来園者が自由に利用できるようなフリースペースとして、芝生広場を3箇所整備します。(合計面積約20,000m<sup>2</sup>)
- ② 芝生は、剛健で踏圧に強い、「野芝」により整備する計画とします。
- ③ 芝生広場内には、休養施設として四阿やベンチを配置する計画とします。

### (6) 調整池整備計画

- ① 北ブロック西側A=7.99haと南ブロックA=12.90haの合計A=20.89haを流域として、調整池を計画します。
- ② 計画高さが最も低くなる区域南西部に調整池を配置し、公園内の雨水を集水する計画とします。
- ③ 調整池は、30年確率の降雨強度に対応した貯留量V=7,746m<sup>3</sup>を調整する計画とします。
- ④ 調整池は、面積A=6,060m<sup>2</sup>、最大水深H=1.5m程度として計画します。
- ⑤ 調整池からの放流量は、下流水路の最小流下能力地点以下に調整して放流する計画とします。
- ⑥ 調整池護岸は、周辺景観になじむような緑化可能な護岸工として計画します。
- ⑦ 調整池外周には、立ち入り防止のためのフェンス(H=1.8m)を設置する計画とします。

### (7) トイレ整備計画

- ① トイレ1棟は、男子(大2小4洗面2)、女子(大3洗面3)、多目的便所(1)の合計10穴程度の規模で整備します。
- ② 東側及び西側の来園者の通行が多い箇所にそれぞれ1棟設置する計画とします。
- ③ トイレ1棟は、建築面積60m<sup>2</sup>程度として計画します。

### (8) 防災倉庫整備計画

- ① 防災倉庫へのアクセス性を考慮し、西側の県道真岡岩瀬線出入口から近い位置に配置します。
- ② 防災倉庫1棟は、建築面積400m<sup>2</sup>程度として計画します。



7. 整備計画平面図

